

静岡県立静岡城北高等学校 令和4年度 第2回 学校運営協議会

1. 日時：令和4年11月5日（土）午前9時30分～11時30分

2. 会場：本校応接室

3. 出席者

学校運営協議会委員

会長 北川展裕 氏 PTA・後援会関係者（後援会長）

副会長 大高千尋 氏 同窓会関係者（同窓会長）

小池理恵 氏 学識経験者（常葉大学外国語学部）

杉山 誠 氏 地域関係者（大岩二丁目会長）

静岡城北高等学校

校長 吉永卓志

副校長 渡部健一

教頭 石原 忍

事務長 米山敏彦

4. 次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 校長挨拶

(4) 授業見学

(5) 高速の見直しについて

(6) 閉会

【会長挨拶】北川会長

市内では3年ぶりの大道芸で熱気を帯びている。一方で、台風による浸水被害にあった学校関係者もいると聞く。早期の復旧を願う。

【校長挨拶】吉永校長

公立高校の来年度の募集定員が発表された。本校は定員240人で今年と変わらない。県全体では中3生は400人増加するが、公立高校は6学級の定員減となった。今日の午後の公開授業で本校の魅力を発信し、志願者増加を図りたい。

前回の運営協議会では、広報活動の充実、あいさつの推進、城北スマイルプロジェクトによる地域連携、について意見交換をした。広報は充実してきた。あいさつは、大人が積極的に手本を示す必要がある。スマイルプロジェクトには多くの生徒が積極的に取り組んでい

る。グローバル科の海外研修は実現できていないが、オンラインでの国際交流は進んでいる。

学校に求められる役割が変わりつつある。特に、子供の人権を守る、ということがこれまで以上に求められている。従来の、教師主導の鍛えて伸ばす指導から、生徒が主体的に学ぶ学習への転換が求められている。このような流れの中で、全国的に校則の見直しが求められている。

【学校の概況】

令和4年度の6月から10月までの学校行事、生徒の活動、部活動の大会結果等を、資料により渡部副校長、石原教頭より説明。

【授業見学についての意見、感想】

- ・ 掲示物から、積極的に職場体験に参加する生徒の様子が分かった。
- ・ 教員の言葉遣いが気になった。生徒への配慮が必要かと感じた。
- ・ 先生が生徒に敬語を使っていることに、時代の変化を感じた。
- ・ 職場体験の行き先を、どういう理由で生徒が選択しているのかがわかればより面白い。訪問先の選択がもっと広がればよい。
- ・ グループで意見交換をしてそれをまとめる、発表するような活動は、就職してからも役立つと感じた。オンラインでの授業配信に、時代を感じる。一方で、取り残されている生徒がいないか、を心配する。
- ・ 自分の子供が高校生だった2年前から、コロナの影響で、ICTの活用が進んでいることを感じた。
- ・ 生徒は興味があることには自分から進んで世界を広げていくんだな、と感じた。

【校則の見直しについての意見、助言】

校則全般について

- ・ 中学校でも校則の見直しは進んでいる。基本方針だけを定め、あとは生徒に任せる、という中学校もある。
- ・ 条例等で定められていることは、そのままよい。
- ・ 規則は、一部の人がはみ出すことで厳しくなる。一人のために多くの生徒を縛るのはいかなものかと思う。
- ・ 18才で成人になる、という点から、校則で規制をするのはどうか、と思う。

服装、頭髪について

- ・ 中学校からは、見た目だけで中学生を判断しないでほしい、という声がある。高校では、「企業うけ」を考えて校則指導をすることもある。
- ・ 大学入試では外見での判断はしないよう心掛けている。中学と高校は違う。高校はもっと

- 大学寄りの方針でよいのではないか。生徒自身の意見を聞くことが必要だと感じる。
- ・海外では、制服があることで貧富の差が見えにくくなり、学校で差別をされなくなる、という事例もある。
 - ・制服やトイレなどの設備はユニセックスなものが必要だ。
 - ・生徒全員の意見を聞いてほしい。
 - ・制服をきちんと着用させることは、生徒の安全性を守る、という意味もある。
 - ・生徒は成長する。自分たちで学習して、どうしたら社会で受け入れられるか、を考えられる。
 - ・服装、化粧は、いじめや差別を助長してしまわないか、という点は心配される。
 - ・地域の方や卒業生ががっかりしてしまう生徒の姿は見せたくない。
 - ・制服がなくても、校風がきちんとしていれば問題ないのではないか。
 - ・制服には賛成する。経済的に家庭には助かる。朝の忙しい時間にも助かる。
 - ・日焼け止めやリップクリーム程度なら、使用してよいのではないか。
 - ・制服があるのは、親の立場からは安心できる。
 - ・制服によって、自分の学校に対してのプライドを示すことができる。

その他

- ・1人1台端末の導入が始まり、スマートフォンとの使い分けのルールをどう定めるか、が問題になっている。
- ・成人年齢の引き下げにより、学校内での政治的活動についてもルールが必要である。